

⇒続き

グループ討議のアンケートより:

- ①他の施設の問題を聞いて、あらためて自施設を振り返ることが出来た。
- ②どの施設も常にチャレンジをしており具体的な対策を聞くことが出来て良かった。
- ③私たちの施設は導入して1年未満のため、よいアドバイスが聞けて、情報交換がとても有意義な時間になった。
- ④利用者さん一人に3つの目標を考えている話を聞いてすごい！と思った。
- ⑤家族との関わり方、学習のフィードバックの仕方など本当に役に立った。



<第3部>◆交流会◆

交流会は第2部のグループ討議の延長である。

学習療法を活かす取り組みを聞いて、グループ毎に自由に話し合った。

お茶とお菓子が振舞われ、饒舌さがさらにました。やはり話の中心は職員の意欲向上、利用者さんの目標についてどのように取り組んでいるのかでした。

また、これから導入を考えている施設の方に対して、私たちも最初はそんな風だったと優しくアドバイスしていました。



◆くもん学習療法センター 伊藤副代表講評◆

学習者さんの変化の見方で機能や能力を維持していることの大切さを知ってほしい。ほおっておけば、高齢者の機能は下がる一方の中で、維持されている方の素晴らしさを。

学習者さんの変化の大きさを知ってほしい。それには変化に気づくスタッフの存在が大きい。

<記録力><観察力><コミュニケーション力>を学習療法を通して身につけてほしい。

最後にみんなで大分シンポを成功させて、そこでの感動を地域に伝えていきましょう！



◆総括 : 吹田カズエ副会長◆

施設の取り組みを地域に「魅せる化」をすることが大切。

学習療法はそれが出来る重要なツール。がんばって学習療法を施設に活かそうとする人は、ストレスがあるはず。

そんな人はこの会に参加して。元気になって帰ってもらいたい。



11月16日大分シンポジウムに向けて 活動計画(案)

7月

第7回大分学習療法研究会～ケアマンションひだか(日田市)～

<主な内容>

- 施設見学
- 事前アンケート発表
- グループ討議: アンケート内容をもとに自由討議
- 交流会



8月

大分シンポジウム成功に向け、実行委員会を随時開催

<主な検討・実施内容>

- 参加申込みチラシ作成・配布(1,000枚)
- 入場整理券送付
- 当日の役割分担・マニュアル作成
- 事例発表 事業所決定
- 会場(APU)との打ち合わせ
- 必要物品の準備
- 参加依頼(福祉・医療関係、行政他)
- マスコミ関係への案内



9月

10月

第8回大分学習療法研究会 ～住友生命ビル(大分市)～

<主な内容>

- 大分シンポジウム最終確認
- グループ討議



11/16

大分シンポジウム ～立命館アジア太平洋大学(APU)～

<主な内容>

- オープニングセレモニー
- 基調講演 : 東北大学 加齢医学研究所所長 川島隆太教授
- 事例発表 : 学習者・職員・事業所の変化、地域ケアに活かす



未定

秋の全国育成士テキスト勉強会 ～場所未定～

<主な内容>

- 育成士勉強会



2月

第9回大分学習療法研究会 ～住友生命ビル(大分市)～

<主な内容>

- 事例発表
- グループ討議
- 理事会 (活動反省・次年度計画等)



第7回大分学習療法研究会～こんな様子でした (^o^)/



ケアマンションひだか様、会場提供とホスピタリティ、ありがとうございました。

施設見学



第1・2部

陽だまりの郷みなはる

ケアマンションひだか

生活倶楽部

大分豊寿園

GH古国府

鳩友園DS

センチナリアン

第3部

お茶と菓子
でリラックス

終了後の懇親会



第7回にもなるとすっかり打ち解けた仲間たちになりました。